

2026年度 展覧会スケジュール

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM
TEL : 052-935-6262 FAX : 052-935-6261



逢左文庫
HOSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA
TEL : 052-935-2173 FAX : 052-935-2174

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027 1月	2月	3月
徳川美術館 本館展示室	豊臣兄弟!		現代クリエイター との遭遇	武芸 サムライ・アスリート			ときめく箱	年末年始休館 2026.12.14(月) 2027.1.4(月)		古写経 祈りの美	尾張徳川家の雛まつり	
名古屋市長逢左文庫 展示室			お能、 はじめまして。				旅する侯爵 徳川義親				大名もあそぶ	

4.18(土)ー6.14(日)

NHK大河ドラマ特別展

豊臣兄弟!

大胆に突き進む兄・豊臣秀吉を、冷静沈着に陰で支え続けた弟・秀長。本展ではNHKの大河ドラマ「豊臣兄弟!」と連動し、豊臣兄弟が激動の戦国時代を制して天下統一への道を切り拓く軌跡を、重要な合戦や出来事を取り上げながら紐解きます。また織田信長・徳川家康・藤堂高虎・千利休など豊臣兄弟をとりまく人々との関係にも着目し、約140件の美術工芸品や歴史資料から、豊臣兄弟が生きた栄枯盛衰の時代に迫ります。



大和郡山指定文化財 豊臣秀長像(部分)
江戸時代 天明8年(1788) 奈良・春岳院藏

6.25(木)ー7.12(日)

ムジナバケール × 徳川美術館
共同企画展示

現代クリエイター との遭遇

徳川美術館の所蔵品を、現代のクリエイターが多様なジャンルで再構築するアート番組「ムジナバケール」(中京テレビ)。番組を通して生み出された現代アート作品と、そのインスピレーションの源となった美術品の一部をあわせて紹介します。



6.25(木)ー7.20(月・祝)

企画展

お能、 はじめまして。

日本の舞台芸術「能・狂言」は、物語をもとに、役柄に応じて取り合わせられる面・装束類、謡や楽器の音色が幽玄の世界を織りなします。尾張徳川家に伝えられてきたコレクションを通して、能道具の多彩な表現を紹介する展覧会です。能の世界へのはじめの一歩を、踏み出してみませんか。



黄地枝垂板に尾長島文金欄長組 江戸時代 17-18世紀

7.25(土)ー9.27(日)

夏季特別展

武芸 サムライ・アスリート

江戸時代の武士は、弓矢を操り、馬に乗り、刀剣や鎧を用いた剣術などの武芸を身につけました。彼らは合戦に備えて、日頃より技の修得に励みましたが、武士階級が無くなった近代以降、これらの技は軍隊や教育機関における心身の鍛錬を目的とするスポーツとして定着し、現代にいたります。本展では、大名家・尾張徳川家で実際に用いられた武具類や各種の伝書などを中心に、さまざまな武芸について紹介します。



演馬図屏風 左隻(部分) 江戸時代 17世紀 岡谷家寄贈

10.8(木)ー11.15(日)

特別展

ときめく箱

ものを収納する容器の一つである箱は、古代から現代にいたるまで、人々の生活や信仰・芸術に深く関わってきました。内容品の保護・整理・運搬といった実用性に加え、精緻な装飾や象徴的な意匠、そして蓋の表裏に記された箱書きなど、本展では、箱の機能と美に着目しながら、その魅力に迫ります。



刷毛目茶碗 銘白波
朝鮮王朝 16世紀 岡谷家寄贈

10.8(木)ー12.13(日)

企画展

生誕140年 没後50年記念

旅する侯爵 徳川義親

徳川美術館の創設者・尾張徳川家19代義親は、知的な探求心にあふれた人物でした。義親は東南アジアや欧州の旅行で得た美術品、日本各地の郷土玩具など、その地域や生活の記憶と結びついた作品を収集しました。義親の文化への眼差しとその足跡を紹介します。



ポロブドゥール遺跡を訪れた
義親(向かって左)
昭和4年(1929) 個人蔵

1.5(火)ー1.31(日)

企画展

古写経 祈りの美

仏教経典を书写することは、大きな功德があると信じられてきました。本展では、尾張徳川家伝来の優品を中心に、近年寄贈を受けた作品も交えながら、古代から近世にかけての古写経の名品をご紹介します。文字、料紙、装丁の美しさにも注目してお楽しみください。



重要文化財 法華経普門品(部分)
平安時代 12世紀

2.6(土)ー4.4(日)

特別展

尾張徳川家の 雛まつり

毎年、雛まつりの時期にあわせて尾張徳川家伝来の雛飾りを展示しています。気品に満ちた雛人形・雛道具は、いずれも御三家筆頭の名にふさわしい質の高さを誇ります。各時代の技術の粋が結集された尾張徳川家ゆかりの雛飾りをご堪能ください。



有職雛(東母姿) 江戸時代 19世紀
貞徳院施願(尾張家14代慶勝正室)所用

2.6(土)ー4.4(日)

企画展

大名もあそぶ

古今東西を問わず、人が人らしく生きる上で必要不可欠なもの、それが「遊び」です。江戸時代の大名家においても、つれづれを過ごす娯楽のみならず、たしなみや教養の糧として、さまざまな遊びがおこなわれました。大名たちの心をなごませ、生きる力を育んできた遊びの世界を紹介します。



菊折枝両絵巻盤・双六盤・将棋盤 江戸時代 18世紀
後藤院福君(尾張家11代齊盛齋室)所用

※表記のない作品は全て徳川美術館蔵

○開館時間:午前10時~午後5時(最終入館午後4時30分) ○休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日) 2026年12月14日(月)~2027年1月4日(月)

※年間を通じて、展覧会名・内容・作品・展示替え期間などは変更する場合がございます。ホームページなどで必ずご確認ください。